

たてものを、いきものに

LIVZON

2026 BUSINESS REPORT

第75期 報告書 2025.04.01 ≧ 2026.03.31



大成温調株式会社

証券コード:1904

大成温調は「総合たてものサービス企業」を目指し、 長年培ってきた経験と技術力で多種多様な施設に携わっています。

ブランドステートメント

たてものを、いきものに

LIVZON

空気・水・電気という命の源を建物に巡らせ、人々の暮らしや営みを支える大成温調。設備工事を通じ、建物に命を吹き込み、地域や社会に活気ある未来を届けています。

LIVZONの由来

人々の暮らしや営みを表す「LIVE」と、未知を表す「Z」、そして、物事を活性化させていくという意味の「ON」を組み合わせせたネーミングです。未知の領域に絶えず挑戦し、人々の暮らしを豊かにしていくというLIVZONの意思と約束を表現しています。

●暮らしの中の「LIVZON」

空調設備・換気設備

それぞれの空間に合った室内環境に保つことで、感染症の予防や、快適性・生産性を向上させる役割を果たします。

給排水衛生設備

日常生活において不可欠な水まわりの設備であり、適切に設置されることで、建物内を衛生的な環境に保ちます。

電気設備

現代の暮らしに欠かせない電気設備をしっかり整え、点検や修理をすることで、安全で安心な暮らしを支えています。

オフィスビル

学校

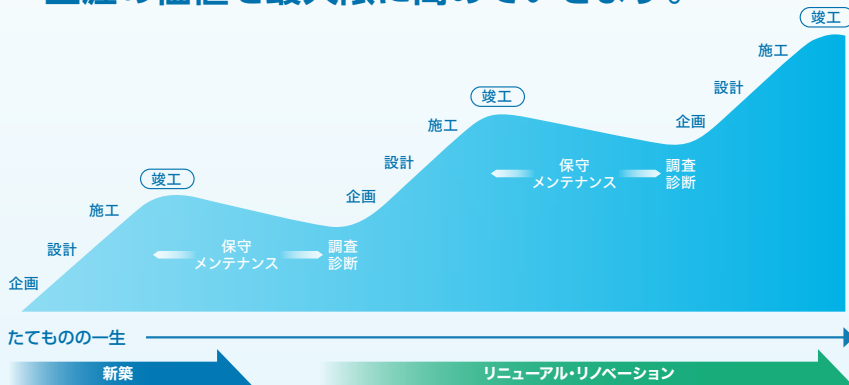
ホテル

工場

スケート場

病院

たてものをいきものと捉えて「生み」「育み」、
一生涯の価値を最大限に高めていきます。



ココがポイント!

当社は、空調・衛生設備の企画・設計・施工から、保守・メンテナンス、調査・診断までを一貫して担うバリューチェーンを通じて、建物のライフサイクル全体に寄り添い、その価値の最大化に取り組んでいます。新築とリニューアル・リノベーションにより、建物の「一生」に寄り添い、変化する外部環境に応え続けています。

LIVZON Story



施設名 : 蓬田村役場(庁舎棟・車庫棟)
所在地 : 青森県東津軽郡蓬田村
竣工年 : 2025年
工事区分 : 空調衛生設備工事

たてものを
「地域特性に合わせて機能する」いきものに。

青森県東津軽郡蓬田村に、2025年8月、新たな村役場が誕生しました。旧庁舎は老朽化に加え、津波リスクや耐震性などの課題を抱えており、新庁舎では災害に強く、村民が利用しやすい施設づくりが進められました。また、環境配慮にも取り組み、地中熱を活用した設備などを導入しています。大成温調は、本施設の空調衛生設備工事を担当し、快適で安心できる空間づくりを支えています。

Storyをもっと知りたいかたはこちら



成長基盤を確かなものとし 「LIVZON DREAM 2030」の後半戦へ

大成温調株式会社
代表取締役 社長執行役員

水谷 憲一



当期の業績とその背景、 中期経営計画の振り返りをお願いします。

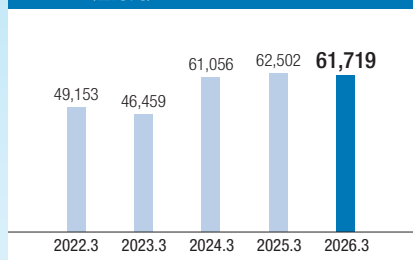
2026年3月期の業績は、資材・機材や労務費の上昇、人手不足の影響もありながら、国内建設需要の活況に伴う受注の堅調な推移と、生産性向上に向けた取り組みを受け、利益が業績予想を上回り、単体・連結ともに減収増益で着地しました。売上高は前期比1.3%減の61,719百万円、営業利益が同27.8%増の3,980百万円、経常利益が同32.0%増の4,597百万円、親会社株主に帰属

する当期純利益が同42.7%増の3,549百万円となっています。

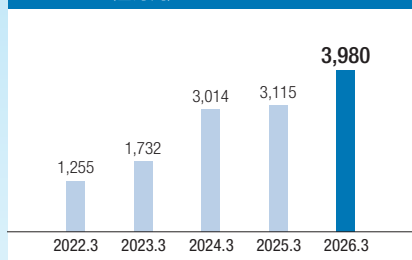
2025年度は中期経営計画LIVZON DREAM 2030「1st half !」の最終年度でもありました。前期同様、コア事業の収益性改善、成長のための土台作りに向け、医療施設や商業施設など大型案件への注力、受注案件審査の高度化、DX・データ活用基盤の整備、積極的な人財投資といった施策を進めてきました。「1st half !」の5年間、インフレの逆風下において、旺盛な建設需要と内部の取り組みにより、掲げた経営指標(KPI)を達成できたことは、次期計画へつながる大きな成果であると捉えています。

連結財務ハイライト

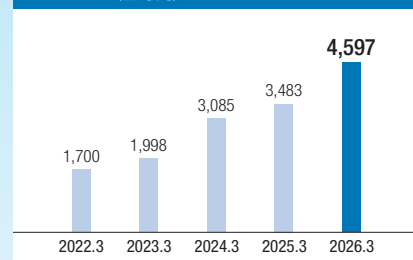
売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)





2026年度からスタートした 中期経営計画についてお聞かせください。

2026年度より、2030年度に向けた長期経営ビジョン「LIVZON DREAM 2030」の後半戦となる、新中期経営計画「2nd half!」が始動いたしました。昨今の外部環境のめまぐるしい変化を踏まえ、「『技術』をコアとして『人財とデータ』で成長を加速する」をコンセプトに、「高度エンジニアリング領域の拡大」「ストック収益の最大化」「生産性の向上」の3つを重点テーマに成長戦略を進めています。

「高度エンジニアリング領域の拡大」では、生成AIにより高い成長が期待できるデータセンターや、半導体・クリーンルームなど高付加価値市場に本格的に参入するべく、専門人財の獲得・育成を進めています。「ストック収益の最大化」に向けては、建築費やエネルギーコストの高騰を背景に、既存建物の改修・保守需要が拡大しています。AIを活用したデータ分析により改修・保守提案の高度化を進め、継続的な収益の確保を目指してまいります。「生産性の向上」については、加速する人手不足への対応として、分業・外部活用やオフサイト施工（工場製作）などによる設計・施工の標準化を進めています。さらに、2025年10月に稼働した「LIVZON サイバープラットフォーム^{*}」を核として、情報共有や意思決定の迅速化を図っていく計画です。また、脱炭素、省エネ対応についても、当社が貢献できる分野として、引き続き注力してまいります。

計画達成には成長を支える人財への思い切った投資も肝要

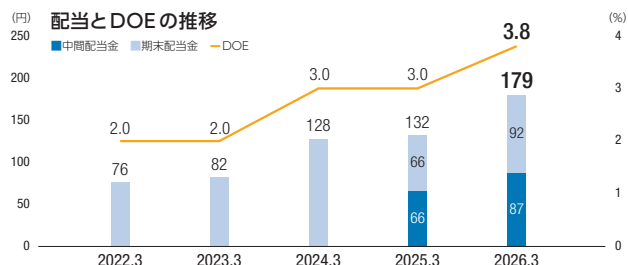
だと考えています。5年間で190～230億円の成長投資、2030年度の連結営業利益70億円以上を目標に、変革に挑んでまいります。



株主還元および株主の皆さまに メッセージをお願いします。

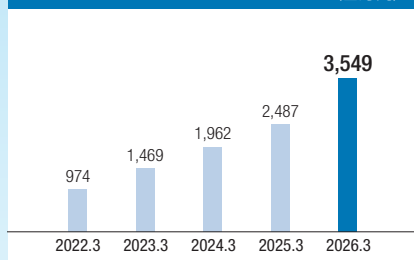
当社では中長期的な事業の成長を図りながら、DOE（連結純資産配当率）3.8%を目処に安定的な配当を継続実施することを基本方針としてまいりました。その方針に基づき、当期の年間配当金は普通株式1株につき179円といたしました。また、「2nd half!」では、2030年度までにDOE4.0%以上を目指してまいります。

長期経営ビジョンのもと、2030年度に目指す「総合たてものサービス企業」の実現に向けては、事業環境やニーズの変化も背景に、「2nd half!」での挑戦と成果が、そのカギを握ります。株主の皆さまには、今後の成長にご期待いただくとともに、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

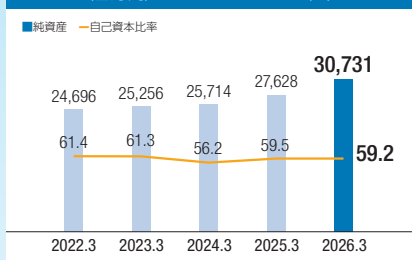


^{*}LIVZON サイバープラットフォーム…新ERPを中心として、各ビジネスプロセスアプリケーションを接続し多角的にデータ連携させる仕組み

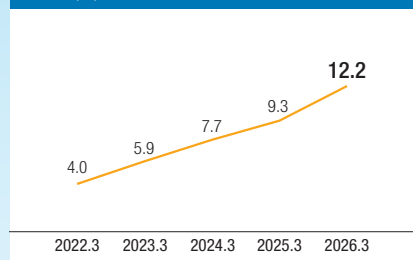
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



純資産 (百万円) / 自己資本比率 (%)



ROE (%)



新中期経営計画 LIVZON DREAM 2030 [2nd half!]

技術をコアとして 人的資本 × データで成長を加速する

当社は、2021年に策定した長期経営ビジョン「LIVZON DREAM 2030」の実現に向けて、2025年度を最終年度とするLIVZON DREAM 2030「1st half!」に取り組んでまいりました。

2026年度から2030年度の5カ年を対象とする中期経営計画LIVZON DREAM 2030「2nd half!」では、3つの成長戦略を重点テーマとして取り組むことで、企業価値向上を目指してまいります。

新中期経営計画について
詳しくはこちら



[2nd half!] 目標

2031年3月期

営業利益額 **70** 億円以上
ROE **12.0** %以上[※]
EPS **810** 円以上
DOE **4.0** %以上

※ 自社株買いを除く

[1st half!] 終了時

2026年3月期

営業利益額 **39** 億円
ROE **12.2** %
EPS **573** 円
DOE **3.8** %

[1st half!] 開始時

2021年3月期

営業利益額 **13** 億円
ROE **4.0** %
EPS **174** 円
DOE **2.0** %

成長戦略

- | | | |
|---|---|--|
| 1 
高度エンジニアリング | 2 
ストック | 3 
生産性 |
|---|---|--|

経営資源

- | | | |
|---|---|--|
| 1 人的資本  | × | 2 データ・AI  |
|---|---|--|

[2nd half!]の方向性

“人的資本×データ”を基盤に、単価・ストック収益・効率を同時に向上

3つの成長戦略

1

高度エンジニアリング領域の拡大

産業用・医療用施設案件等で培った技術力を活用し、高度エンジニアリング領域を拡大

2 ストック収益の最大化

建築費・エネルギーコスト上昇に伴うストック需要を取り込み、データ・AI活用により保守・改修領域での継続収益を最大化

3 生産性の向上

DX・標準化・外部活用で業務にレバレッジをかけ、人財投資と両立しながら付加価値創出を最大化

経営資源

1 人的資本

内部・外部の人的リソースの活用により、成長を支える人的基盤を強化し、組織としてのパフォーマンスを最大化

×

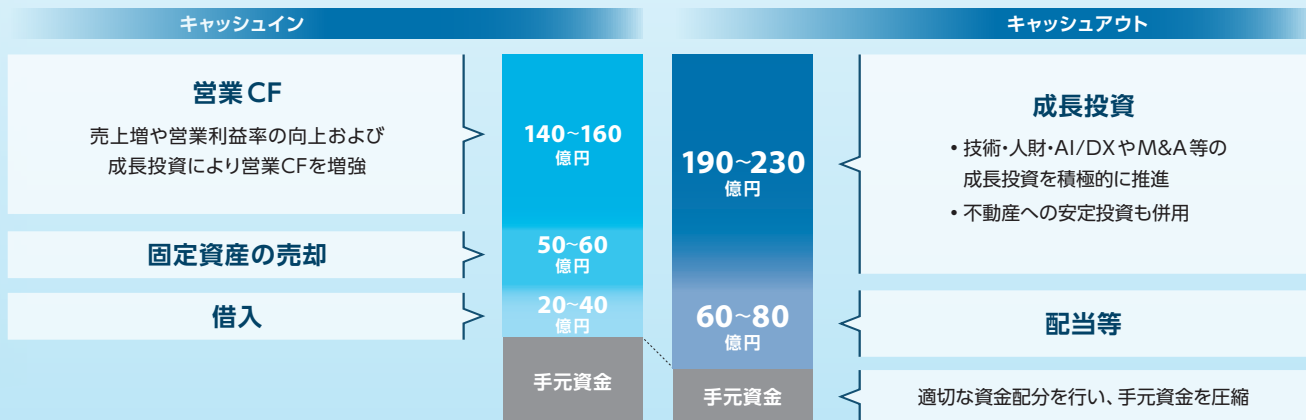
2 データ・AI活用

LIVZON サイバープラットフォーム*×AIにより、業務・組織・サービスを一体で高度化し、付加価値創出と生産性を向上

*LIVZON サイバープラットフォーム…新ERPを中心として、各ビジネスプロセスアプリケーションを接続し多角的にデータ連携させる仕組み

キャピタルアロケーション

営業CFの創出に加え、固定資産売却や手元資金水準の最適化を進めながら、成長投資と株主還元を両立するキャッシュアロケーションを推進します。



株主の皆さまとのコミュニケーション

株主優待制度

毎年3月31日および9月30日現在、当社普通株式300株以上を保有する株主さまを対象に、保有株式数に応じてクオカードをお送りしております。



保有株式数	優待内容
300~499株	クオカード8,000円 (4,000円×年2回)
500~899株	クオカード15,000円 (7,500円×年2回)
900株以上	クオカード30,000円 (15,000円×年2回)

(2026年3月期以降)



株主さまの声をご紹介



Q 中長期の成長戦略と併せて、日々の株価推移もタイムリーに把握したいです。情報発信を強化する予定はありますか？

A 株主の皆さまとの対話の深化を目的に、2026年5月に自社サイトをリニューアルしました。戦略やサステナビリティ情報の拡充に加え、新たに「リアルタイム株価表示機能」を導入。投資判断に資する情報を一元的に、かつ迅速に確認いただける体制を整えました。



<https://www.taisei-oncho.co.jp/ir/>

株主アンケートご協力をお願い

下記 URL にアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



ネットでアンケート
Provided by TAKARA Printing

株主の皆さまからのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただくため、WEBアンケートを実施いたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから**2026年8月31日(月)まで**になります。

アクセス方法



パソコンから

下記の URL からアクセスいただけます。

<https://q.srdb.jp/>



スマートフォン・携帯電話から

QRコード読み取り機能のついたスマートフォンまたは携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからアンケート画面へアクセスいただけます。*携帯電話の機種により、使用できない場合もございます。



*「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会・期末配当	3月31日
中間配当	9月30日
公告方法	電子公告の方法により、当社ウェブサイトに掲載して行います。ただし電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人

事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

※その他ご不明な点は、株主名簿管理人にお問い合わせください。

大成温調株式会社

本社 〒140-8515 東京都品川区大井1-49-10
TEL : 03-5742-7301(代)
コーポレートサイト <https://www.taisei-oncho.co.jp>

